

# 船舶事故等調査報告書（軽微）

1	船舶事故	計	31件
2	船舶インシデント	計	3件
		合 計	34件

平成24年9月28日

## 船舶事故等調査報告書（軽微）一覧

### （函館事務所）

- 1 漁船第十八大崎丸漁船神力丸衝突
- 2 漁船第二十八山神丸漁船第十五良栄丸衝突

### （仙台事務所）

- 3 漁船盛栄丸転覆

### （横浜事務所）

- 4 手漕ぎボート船名不詳運航阻害
- 5 貨物船第五豊和丸衝突（橋桁）
- 6 モーターボートクレマチスⅡのり養殖施設損傷
- 7 砂利石材運搬船章栄丸陸上車両損傷
- 8 漁船第七大濱丸漁船第八正福丸漁具損傷
- 9 押船第十八轟丸クレーン台船世紀21号乗揚
- 10 旅客フェリーかなや丸衝突（岸壁）
- 11 石材運搬船第六豊松丸乗揚
- 12 砂利採取運搬船第拾弍新栄丸乗揚
- 13 貨物船海宝丸安全阻害
- 14 ミニボート（船名なし）沈没

### （神戸事務所）

- 15 ヨットN' Djamena 運航阻害
- 16 遊漁船福王丸モーターボート英雄丸衝突
- 17 漁船第三十八しんこう丸衝突（橋脚）
- 18 油タンカー第十五京丸漁船金比羅丸衝突
- 19 貨物船八徳丸貨物船第二朝日丸はしけK-823衝突

### （広島事務所）

- 20 ケミカルタンカー昭豊丸乗揚
- 21 旅客船ユメカイナ浸水
- 22 押船第二十二住力丸バージS-23浸水
- 23 プレジャーボート三六丸衝突（かき筏）
- 24 プレジャーボート海将丸乗揚

### （門司事務所）

- 25 貨物船第十大栄丸乗揚
- 26 貨物船光保丸乗揚
- 27 交通船第七十八親力丸乗揚
- 28 油タンカー第六わかづる丸衝突（灯浮標）
- 29 貨物船松星丸乗揚
- 30 貨物船天馬丸乗揚

### （長崎事務所）

- 31 モーターボート若潮丸乗揚
- 32 貨物船利根丸乗揚

### （那覇事務所）

- 33 貨物フェリー第三南海丸衝突（岸壁）
- 34 プレジャーボート北山Ⅱ転覆

船舶事故等調査報告書

平成24年8月30日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第189号	
事故等種類	のり養殖施設損傷	
発生日時	平成23年10月30日（日） 18時02分ごろ	
発生場所	千葉県木更津市盤洲北方沖 木更津市所在の東京湾アクアライン海ほたる灯から真方位092°5,000m付近 (概位 北緯35°27.7' 東経139°55.8')	
事故等調査の経過	平成23年10月31日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報 死傷者等 損傷	
	モーターボート クレマチスⅡ、5トン未満（長さ7.77m） 232-17360千葉、個人所有 船長、二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 なし 本船 船底に擦過傷 定置網 根綱、枠綱及び仕切り綱切断	
事故等の経過	本船は、船長及び同乗者3人が乗船し、盤洲北方沖において、陸上の煙突の炎を目標にして東進中、船長は、GPSプロッターにより船位の確認を行っていなかった。本船は、のり養殖施設に接近して航行し、平成23年10月30日18時02分ごろ推進器にのり養殖施設の網が絡まって航行不能となった。 本船は、船長が海上保安庁に通報し、千葉県水難救済会の所属艇に救助され、自力で木更津市金田漁港に帰港した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北、風力 4、視程 約3海里 海象：波高 約1m、潮汐 満潮時 日没時刻：16時48分	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、盤洲北方沖を東進中、船長が船位の確認を行っていなかったことから、のり養殖施設に接近して航行し、のり養殖施設に進入して同施設を損傷したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、盤洲北方沖を東進中、船長が船位の確認を行っていなかったため、のり養殖施設に接近して航行し、のり養殖施設に進入したことにより発生したものと考えられる。	
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・夜間においては、目視による見張りに加え、レーダー又はGPSプロッターを活用して船位の確認を行うこと。	